

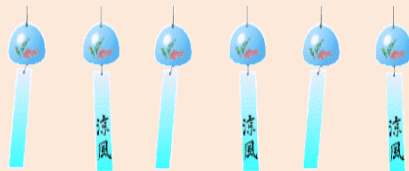
# 二つ森の里 通信



木曾川

今年は梅雨明けが早くこの地方では、平年より2週間以上も早く明け本格的な暑い夏を迎えました。ここ最近毎日のように、高温注意報が出るなど猛暑日が続いています。また熱中症にかかる人が最近増加し、社会問題になっています。外での

仕事に、直射日光を受け熱中症にかかるはもちろんの事、最近は家の中でも熱中症にかかる人が増えているようです。私自身も工事現場(断熱工事前)の中で打ち合わせ等をしている時に、暑くて非常に不快な思いをした事があります。最近の住宅は暑さ寒さ対策が進み高断熱高气密住宅や、在来工法でも断熱材の材質や工法、地域の環



境や気候等を考えて設計に取り込めば効果は十分発揮します。又エアコン、ファンヒーター、床暖房等を上手に使えば省エネ、経済性もアップすると思います。

断熱材は各メーカーにより使用する場所や性能、工法など多くの種類があります。現在木造住宅で一般的に使用される断熱材はグラスウールです。材質はガラス繊維状のもので施工性、経済性に優れています。厚みや密度も種類が多く住宅の床、壁、天井のほとんどの部位に使用できます。他によく使われる断熱材は、発砲プラスチック系断熱材で成形板状の物です。またウレタンフォームによる現場発泡吹き付け材等です。

下の写真はそれぞれの断熱材の施工例です。



壁天井のグラスウールの施工状況です。厚み 100mm で密度は 16k を使用しました

床下断熱材です。床用グラスウール厚み 80mm を専用の金具にて敷き込み。



壁天井にウレタンフォームを吹き付けしました。厚みは 25mm です。